

## VII 観光動態調査ルート分析

### 1. はじめに

- 報告書について

この報告書は平成 29 年度に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した（P142:2. 立寄り市町村割合）。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析した（P148:3. 周遊ルート分析）ものである。

- 調査地点について

高知県内の観光地（10 地点：室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、桂浜、高知城、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬）でアンケート調査を実施している。

- 発地ブロックについて

- 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北	：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟	：新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海	：山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外	：すべての海外旅行者

## 2. 立寄市町村割合

### ● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した（する予定の）観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
  - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
  - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ（%表記）は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
  - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| 01 東洋・室戸   | : 東洋町、室戸市              |
| 02 奈半利・田野等 | : 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村 |
| 03 安芸・芸西   | : 安芸市、芸西村              |
| 04 香南      | : 香南市                  |
| 05 南国・香美   | : 南国市、香美市              |
| 06 本山・大豊等  | : 本山町、大豊町、土佐町、大川村      |
| 07 高知      | : 高知市                  |
| 08 いの      | : いの町                  |
| 09 土佐・日高   | : 土佐市、日高村              |
| 10 佐川・越知等  | : 佐川町、越知町、仁淀川町         |
| 11 須崎・中土佐  | : 須崎市、中土佐町             |
| 12 梶原・津野   | : 梶原町、津野町              |
| 13 四万十町    | : 四万十町                 |
| 14 黒潮・四万十市 | : 黒潮町、四万十市             |
| 15 宿毛・三原   | : 宿毛市、三原村              |
| 16 土佐清水・大月 | : 土佐清水市、大月町            |

## ● 調査結果の概要

立寄観光地の延べ件数（P142-P147）は、8,768件となり、前年度の8,877件から1.2ポイントの減少となっている。県内16地域の立寄数は、「高知」が36.4%と最も多く、次いで「南国・香美」が12.5%、「黒潮・四万十市」が9.2%、「東洋・室戸」が8.7%、「土佐清水・大月」が7.8%と続いている。この上位5地域で全体の74.7%を占めている。

発地ブロック別（P142）をみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっているが、2番目に多い地域は、甲信・東海が「東洋・室戸」、中国と四国が「南国・香美」、関東と近畿などが「黒潮・四万十市」、九州・沖縄などが「土佐清水・大月」と、ブロックにより傾向が分かれた。平均立寄数は、北海道・東北が3.6件と最も多く、四国が1.7件と最も少なくなっている。

年代別（P144）をみると、すべての年代で「高知」が最も多くなっているが、若い年代ほど集中度が高くなっている。また、10代から40代は「南国・香美」が、50代と60代以上は「東洋・室戸」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、40代と50代が2.3件と最も多く、10代が2.1件と最も少なくなっている。

旅行形態別（P145）をみると、すべての旅行形態で「高知」が最も多くなっている。次いで、“一人”は「黒潮・四万十市」が、そのほかの旅行形態は「南国・香美」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、“団体”が2.7件と最も多く、“その他”が1.9件と最も少なくなっている。

旅行目的別（P146-P147）をみると、“買い物”と“アウトドア”で「黒潮・四万十市」、  
“神仏霊場”で「土佐清水・大月」、そのほかの旅行目的で「高知」が最も多くなっている。平均立寄数は、“祭り”が2.5件と最も多く、“買い物”が1.4件と最も少なくなっている。

## 2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1-1) 発地別立寄市町村割合 (件) [ 発地ブロック別 ]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
北海道・東北 (n=32)	14	4	3		8		55	2			1	2	2	9	1	15	116	1.3	3.6
関東 (n=407)	91	43	12	10	91	2	626	47		2	34	4	15	115	9	97	1,198	13.7	2.9
北陸・新潟 (n=15)	4		1		1		20	2			1	1		3		9	42	0.5	2.8
甲信・東海 (n=152)	43	27	5	5	39		197	13			8	2	7	37	4	33	420	4.8	2.8
近畿 (n=645)	141	90	12	23	173	5	770	57		7	88	17	39	183	11	141	1,757	20.0	2.7
中国 (n=386)	51	34	10	25	138	3	509	55		4	44	9	12	64	7	71	1,036	11.8	2.7
四国 (n=2,236)	404	322	45	87	622	14	832	372	1	18	391	6	63	346	34	265	3,822	43.6	1.9
九州・沖縄 (n=104)	13	11	2	1	26		143	8			6	2	8	38	2	44	304	3.5	2.9
海外 (n=23)	4	2		1	2		42	1			1			13		7	73	0.8	3.2
全体 (n=4,000)	765	533	90	152	1,100	24	3,194	557	1	31	574	43	146	808	68	682	8,768	100.0	2.2

(表 2-1-2) 発地別立寄市町村割合 (%) [ 発地ブロック別 ]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
北海道・東北 (n=32)	12.1	3.4	2.6		6.9		<b>47.4</b>	1.7			0.9	1.7	1.7	7.8	0.9	<b>12.9</b>			
関東 (n=407)	7.6	3.6	1.0	0.8	7.6	0.2	<b>52.3</b>	3.9		0.2	2.8	0.3	1.3	<b>9.6</b>	0.8	8.1			
北陸・新潟 (n=15)	9.5		2.4		2.4		<b>47.6</b>	4.8			2.4	2.4		7.1		<b>21.4</b>			
甲信・東海 (n=152)	<b>10.2</b>	6.4	1.2	1.2	9.3		<b>46.9</b>	3.1			1.9	0.5	1.7	8.8	1.0	7.9			
近畿 (n=645)	8.0	5.1	0.7	1.3	9.8	0.3	<b>43.8</b>	3.2		0.4	5.0	1.0	2.2	<b>10.4</b>	0.6	8.0			
中国 (n=386)	4.9	3.3	1.0	2.4	<b>13.3</b>	0.3	<b>49.1</b>	5.3		0.4	4.2	0.9	1.2	6.2	0.7	6.9			
四国 (n=2,236)	10.6	8.4	1.2	2.3	<b>16.3</b>	0.4	<b>21.8</b>	9.7	0.0	0.5	10.2	0.2	1.6	9.1	0.9	6.9			
九州・沖縄 (n=104)	4.3	3.6	0.7	0.3	8.6		<b>47.0</b>	2.6			2.0	0.7	2.6	12.5	0.7	<b>14.5</b>			
海外 (n=23)	5.5	2.7		1.4	2.7		<b>57.5</b>	1.4			1.4			<b>17.8</b>		9.6			
全体 (n=4,000)	8.7	6.1	1.0	1.7	<b>12.5</b>	0.3	<b>36.4</b>	6.4	0.0	0.4	6.5	0.5	1.7	9.2	0.8	7.8			

※ 白抜きはブロックで1位、太字は同2位

(表 2-1-3) 発地別立寄市町村割合 (%) [ 四国 ]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
徳島県 (n=169)	18.7	6.4	0.6	2.8	19.6	0.3	35.2	2.0			3.9	0.3	1.4	2.5	1.1	5.3			
香川県 (n=307)	7.2	6.2	2.1	2.9	18.6	1.0	34.6	4.1			7.8	0.1	1.5	6.2	0.6	7.1			
愛媛県 (n=456)	5.0	7.6	0.9	2.9	17.3	0.4	30.1	9.6	0.1	0.1	8.2	0.3	2.7	4.6	1.6	8.6			
高知県 (n=1,304)	13.0	10.1	1.1	1.6	14.3	0.1	10.3	13.3		0.9	13.3	0.1	1.2	13.6	0.6	6.4			
四国 (n=2,236)	10.6	8.4	1.2	2.3	16.3	0.4	21.8	9.7	0.0	0.5	10.2	0.2	1.6	9.1	0.9	6.9			

・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で8,768件となっている。発地ブロック別にみると、“四国”が3,822件(43.6%)と最も多く、次いで、“近畿”が1,757件(20.0%)、“関東”が1,198件(13.7%)、“中国”が1,036件(11.8%)と続いている。

平均立寄数は、“北海道・東北”が3.6件と最も多く、次いで、“海外”が3.2件、“関東”と“九州・沖縄”が2.9件と続いており、“四国”が1.7件と最も少なくなっている(P138:表2-1-1)。

・上位を占めた立寄市町村

立寄った観光地の市町村をみると、「高知」が3,194件(36.4%)と最も多く、次いで「南国・香美」が1,100件(12.5%)、「黒潮・四万十市」が808件(9.2%)、「東洋・室戸」が765件(8.7%)、「土佐清水・大月」が682件(7.8%)と続いている(P138:表2-1-1)。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄った観光地の市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、“北海道・東北”、“北陸・新潟”、“九州・沖縄”が「土佐清水・大月」、「関東」、「近畿」、「海外」が「黒潮・四万十市」、「甲信・東海」が「東洋・室戸」、「中国」、「四国」が「南国・香美」となっている(P138:表2-1-2)。

なお、“県内旅行者”は「南国・香美」、「黒潮・四万十市」、「いの」、「須崎・中土佐」などが多くなっている(P138:表2-1-3)。

## 2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-2-1) 年代別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=44)	8	2		1	14		43	3			2	1	1	13		3	91	1.0	2.1
20代 (n=505)	67	57	6	17	159		456	40		2	80	11	15	110	7	90	1,117	12.7	2.2
30代 (n=848)	134	85	19	52	380	8	710	77		7	94	9	23	152	5	116	1,871	21.3	2.2
40代 (n=867)	172	96	22	39	241	6	788	114		8	115	8	21	188	15	154	1,987	22.7	2.3
50代 (n=758)	162	140	15	21	135	5	620	126	1	8	122	9	41	159	20	145	1,729	19.7	2.3
60代以上 (n=978)	222	153	28	22	171	5	577	197		6	161	5	45	186	21	174	1,973	22.5	2.0
全体 (n=4,000)	765	533	90	152	1,100	24	3,194	557	1	31	574	43	146	808	68	682	8,768	100.0	2.2

(表 2-2-2) 年代別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=44)	8.8	2.2		1.1	<b>15.4</b>		<b>47.3</b>	3.3			2.2	1.1	1.1	14.3		3.3	91	1.0	2.1
20代 (n=505)	6.0	5.1	0.5	1.5	<b>14.2</b>		<b>40.8</b>	3.6		0.2	7.2	1.0	1.3	9.8	0.6	8.1	1,117	12.7	2.2
30代 (n=848)	7.2	4.5	1.0	2.8	<b>20.3</b>	0.4	<b>37.9</b>	4.1		0.4	5.0	0.5	1.2	8.1	0.3	6.2	1,871	21.3	2.2
40代 (n=867)	8.7	4.8	1.1	2.0	<b>12.1</b>	0.3	<b>39.7</b>	5.7		0.4	5.8	0.4	1.1	9.5	0.8	7.8	1,987	22.7	2.3
50代 (n=758)	<b>9.4</b>	8.1	0.9	1.2	7.8	0.3	<b>35.9</b>	7.3	0.1	0.5	7.1	0.5	2.4	9.2	1.2	8.4	1,729	19.7	2.3
60代以上 (n=978)	<b>11.3</b>	7.8	1.4	1.1	8.7	0.3	<b>29.2</b>	10.0		0.3	8.2	0.3	2.3	9.4	1.1	8.8	1,973	22.5	2.0
全体 (n=4,000)	8.7	6.1	1.0	1.7	<b>12.5</b>	0.3	<b>36.4</b>	6.4	0.0	0.4	6.5	0.5	1.7	9.2	0.8	7.8	8,768	100.0	2.2

※ 白抜き は年代で1位、太字 は同2位

### ・立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、40代が1,987件(22.7%)と最も多く、次いで、60代以上が1,973件(22.5%)、30代が1,871件(21.3%)、50代が1,729件(19.7%)、20代が1,117件(12.7%)、10代が91件(1.0%)と続いている。

平均立寄数は、40代と50代が2.3件と最も多く、次いで20代と30代が2.2件、10代が2.1件、60代以上が2.0件と続いている。

### ・年代ごとの立寄市町村の傾向

すべての年代で「高知」が最も多く、次いで、10代から40代までは「南国・香美」が、50代と60代以上は「東洋・室戸」が多くなっている。

- 10代・20代: 「高知」が目立って多く、「黒潮・四万十市」や「南国・香美」で全体平均を上回っている。
- 30代: 「南国・香美」と「香南」が年代別で最も多くなっている。
- 40代: 「高知」、「香南」、「黒潮・四万十市」、「安芸・芸西」などで全体平均を上回っている。
- 50代・60代以上: 「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」などで全体平均を上回っている一方で、「高知」や「南国・香美」などで全体平均を下回っている。

## 2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

(表 2-3-1) 旅行形態別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,658)	481	382	55	119	875	19	2,013	354		20	398	22	91	479	39	433	5,780	65.9	2.2
友人・知人 (n=599)	105	87	19	15	129	3	642	72		6	82	11	22	124	7	95	1,419	16.2	2.4
団体 (n=63)	6		1	7	18		108	8			8		2	10		4	172	2.0	2.7
その他 (n=61)	7	3		1	18		45	13		1	8	2		10	1	9	118	1.3	1.9
一人 (n=619)	166	61	15	10	60	2	386	110	1	4	78	8	31	185	21	141	1,279	14.6	2.1
全体 (n=4,000)	765	533	90	152	1,100	24	3,194	557	1	31	574	43	146	808	68	682	8,768	100.0	2.2

(表 2-3-2) 旅行形態別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,658)	8.3	6.6	1.0	2.1	15.1	0.3	34.8	6.1		0.3	6.9	0.4	1.6	8.3	0.7	7.5			
友人・知人 (n=599)	7.4	6.1	1.3	1.1	9.1	0.2	45.2	5.1		0.4	5.8	0.8	1.6	8.7	0.5	6.7			
団体 (n=63)	3.5		0.6	4.1	10.5		62.8	4.7			4.7		1.2	5.8		2.3			
その他 (n=61)	5.9	2.5		0.8	15.3		38.1	11.0		0.8	6.8	1.7		8.5	0.8	7.6			
一人 (n=619)	13.0	4.8	1.2	0.8	4.7	0.2	30.2	8.6	0.1	0.3	6.1	0.6	2.4	14.5	1.6	11.0			
全体 (n=4,000)	8.7	6.1	1.0	1.7	12.5	0.3	36.4	6.4	0.0	0.4	6.5	0.5	1.7	9.2	0.8	7.8			

※ 白抜き は旅行形態で1位、太字 は同2位

### ・立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、“家族”が5,780件(65.9%)と最も多く、次いで、“友人・知人”が1,419件(16.2%)、“一人”が1,279件(14.6%)、“団体”が172件(2.0%)、“その他”が118件(1.3%)と続いている。

平均立寄数は、“団体”が2.7件と最も多く、次いで、“友人・知人”が2.4件、“家族”が2.2件、“一人”が2.1件、“その他”が1.9件と続いている。

### ・旅行形態ごとの立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多く、次いで、“一人”が「黒潮・四万十市」、そのほかの旅行形態が「南国・香美」と続いている。

- 家族：「南国・香美」、「奈半利・田野等」、「香南」などで全体平均を上回っている。
- 友人・知人：「高知」、「安芸・芸西」、「梶原・津野」は全体平均を上回っている一方で、「南国・香美」、「いの」、「東洋・室戸」などは全体平均を下回っている。
- 団体：「高知」が半数以上を占めており、立寄市町村が限られている。
- その他：「南国・香美」と「いの」が旅行形態別で最も多くなっている。
- 一人：「東洋・室戸」、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」、「四万十町」などは旅行形態別で最も多くなっている一方で、「高知」、「南国・香美」などは最も少なくなっている。

## 2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

(表 2-4-1) 旅行目的別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの 土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月				
自然見物 (n=830)	175	199	19	37	191	4	689	87		7	45	13	29	216	7	246	1,964	22.4	2.4
休養 (n=179)	22	19	4	3	22	1	154	40		3	64	2	4	26	1	28	393	4.5	2.2
祭り (n=80)	13	20	1	2	9		81	24		7	4		3	29		5	198	2.3	2.5
アウトドア (n=114)	22	3	3	1	16	1	54	36		1	6	6	6	73	2	38	268	3.1	2.4
スポーツ (n=26)	5	2	9	1	7		24	1			4	1				5	59	0.7	2.3
食べ物 (n=613)	90	56	14	23	107	2	660	86		5	232	8	21	94	3	70	1,471	16.8	2.4
神仏霊場 (n=157)	64	11	2		37		46	5			7	1	40	12	40	100	365	4.2	2.3
買い物 (n=289)	70	9	3	1	11	1	48	72			54		2	137		5	413	4.7	1.4
名所旧跡 (n=821)	83	101	16	58	519	10	926	32		1	51	4	16	64	5	81	1,967	22.4	2.4
なんとなく (n=397)	98	47	10	6	80	4	158	106	1	3	55	6	12	66	7	55	714	8.1	1.8
観光・その他 (n=47)	8	7	1	2	11		46	11		1	3			3		2	95	1.1	2.0
帰省・仕事 (n=364)	94	49	6	13	78	1	258	42		1	46	2	11	72	3	44	720	8.2	2.0
その他 (n=83)	21	10	2	5	12		50	15		2	3		2	16		3	141	1.6	1.7
全体 (n=4,000)	765	533	90	152	1,100	24	3,194	557	1	31	574	43	146	808	68	682	8,768	100.0	2.2

(表 2-4-2) 旅行目的別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの 土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月				
自然見物 (n=830)	8.9	10.1	1.0	1.9	9.7	0.2	<b>35.1</b>	4.4		0.4	2.3	0.7	1.5	11.0	0.4	<b>12.5</b>			
休養 (n=179)	5.6	4.8	1.0	0.8	5.6	0.3	<b>39.2</b>	10.2		0.8	<b>16.3</b>	0.5	1.0	6.6	0.3	7.1			
祭り (n=80)	6.6	10.1	0.5	1.0	4.6		<b>40.9</b>	12.1		3.5	2.0		1.5	<b>14.7</b>		2.5			
アウトドア (n=114)	8.2	1.1	1.1	0.4	6.0	0.4	<b>20.2</b>	13.4		0.4	2.2	2.2	2.2	<b>27.2</b>	0.8	14.2			
スポーツ (n=26)	8.5	3.4	<b>15.3</b>	1.7	11.9		<b>40.7</b>	1.7			6.8	1.7				8.5			
食べ物 (n=613)	6.1	3.8	1.0	1.6	7.3	0.1	<b>44.9</b>	5.9		0.3	<b>15.8</b>	0.5	1.4	6.4	0.2	4.8			
神仏霊場 (n=157)	<b>17.5</b>	3.0	0.6		10.1		12.6	1.4			1.9	0.3	11.0	3.3	11.0	<b>27.4</b>			
買い物 (n=289)	17.0	2.2	0.7	0.2	2.7	0.2	11.6	<b>17.4</b>			13.1		0.5	<b>33.2</b>		1.2			
名所旧跡 (n=821)	4.2	5.1	0.8	3.0	<b>26.4</b>	0.5	<b>47.1</b>	1.6		0.1	2.6	0.2	0.8	3.3	0.3	4.1			
なんとなく (n=397)	13.7	6.6	1.4	0.8	11.2	0.6	<b>22.1</b>	<b>14.9</b>	0.1	0.4	7.7	0.8	1.7	9.2	1.0	7.7			
観光・その他 (n=47)	8.4	7.4	1.1	2.1	<b>11.6</b>		<b>48.4</b>	<b>11.6</b>		1.1	3.2			3.2		2.1			
帰省・仕事 (n=364)	<b>13.1</b>	6.8	0.8	1.8	10.8	0.1	<b>35.8</b>	5.8		0.1	6.4	0.3	1.5	10.0	0.4	6.1			
その他 (n=83)	<b>14.9</b>	7.1	1.4	3.6	8.5		<b>35.5</b>	10.6		1.4	2.1		1.4	11.4		2.1			
全体 (n=4,000)	8.7	6.1	1.0	1.7	<b>12.6</b>	0.3	<b>36.4</b>	6.4	0.0	0.4	6.6	0.5	1.7	9.2	0.8	7.8			

※ 白抜き は旅行目的で1位、太字 は同2位

### ・立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が1,967件(22.4%)と最も多く、次いで、“自然見物”が1,964件(22.4%)、“食べ物”が1,471件(16.8%)、“帰省・仕事”が720件(8.2%)、“なんとなく”が714件(8.1%)と続いている。

平均立寄数は、“祭り”が2.5件と最も多く、次いで、“名所旧跡”、“自然見物”、“食べ物”、“アウトドア”が2.4件、“神仏霊場”と“スポーツ”が2.3件と続いている。



・旅行目的ごとの立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めたが、“神仏霊場”は「土佐清水・大月」、「アウトドア」と“買い物”は「黒潮・四万十市」が最も多くなっている。次いで、“自然見物”は「土佐清水・大月」が、“名所旧跡”は「南国・香美」が、“食べ物”と“休養”は「須崎・中土佐」が、“なんとなく”と“買い物”は「いの」が、“帰省・仕事”は「東洋・室戸」が、それぞれ多くなっている。

- 自然見物：「奈半利・田野等」が旅行目的別で最も多くなっており、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」などが全体平均を上回っている。その一方で、「高知」や「南国・香美」が全体平均を下回っている。
- 名所旧跡：「南国・香美」が旅行目的別で最も多くなっており、「高知」と「香南」などが全体平均を上回っている。その一方で、「黒潮・四万十市」や「東洋・室戸」などが全体平均を下回っている。
- 食べ物：「高知」と「須崎・中土佐」が全体平均を大きく上回っている一方で、「南国・香美」や「土佐清水・大月」などが全体平均を下回っている。
- なんとなく：「いの」や「東洋・室戸」などが全体平均を上回っている一方で、「高知」や「南国・香美」などが全体平均を下回っている。
- 帰省・仕事：全体平均と似通った傾向となっているが、「東洋・室戸」が全体平均を大きく上回っている。
- 買い物：「黒潮・四万十市」、「いの」が旅行目的別で最も多くなっている一方で、「高知」が最も少なくなっている。
- 休養：「須崎・中土佐」が旅行目的別で最も多くなっている一方で、「南国・香美」や「東洋・室戸」などが全体平均を下回っている。
- 神仏霊場：「土佐清水・大月」、「三原・宿毛」、「四万十町」、「東洋・室戸」が旅行目的別で最も多くなっている一方で、「いの」、「須崎・中土佐」が最も少なくなっており、「高知」や「黒潮・四万十市」などが全体平均を大きく下回っている。
- アウトドア：「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」、「いの」などが全体平均を大きく上回っている。

### 3. 周遊ルート分析

- 報告内容について

この項目では、平成 29 年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者（発地ブロック別、旅行形態別）がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

- 集計方法について

- ・ 「訪問した（する予定の）観光地」を下記の周遊 7 エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。  
※例 「高知市」 - 「高知市」 - 「東部」の場合、「高知市」 - 「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の 5 ブロックからは入込が少数のため、この 5 ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊 7 エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村  
物部川 : 香南市、南国市、香美市  
高知市 : 高知市  
仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町  
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町  
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町  
嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

## ● 調査結果の概要

県外旅行者全体の周遊ルート（P150）は、「高知市」のみが17.2%と最も多く、上位4位までを単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占めている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」を含む周遊ルートが上位を占めている。

### 発地別での傾向

- 四国：「物部川」のみが最も多く、単一エリア内で観光を終える周遊ルート、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートも多い。（P152～P153）
- 近畿：「高知市」のみ、他エリアと「高知市」を組み合わせた周遊ルートが多くを占めている。（P154～P155）
- 中国：「高知市」と「物部川」を含む周遊ルートが多くを占め、「高知市」のみが発地ブロック別で最も多い。（P156～P157）
- 関東：「高知市」や「幡多」を含む周遊ルートが多く、そのほか県内を広く移動する周遊ルートも多い。（P158～P159）
- その他ブロック：「高知市」と「幡多」を含む周遊ルートに加え、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートも多い。（P160～P161）
- 高知県：「東部」のみが最も多く、単一エリア内で観光を終える周遊ルートで大半を占めている。（P162～P163）

### 旅行形態別での傾向

- 家族：単一エリアで観光を終える周遊ルートが大半を占め、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多い。（P164～P165）
- 友人・知人：単一エリアで観光を終えるルートが半分以上を占め、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」を含む周遊ルートが多い。（P166～P167）
- 団体：「高知市」のみが旅行形態別で最も多く、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでも、「高知市」を含む周遊ルートが大半を占めている。（P168～P169）
- 一人：単一エリア内で観光を終えるルートが上位5位を占め、特に「幡多」のみ、「東部」のみといった「高知市」以外のエリアが多く、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、県内を広く移動する周遊ルートが多い。（P170～P171）

### 3-1. 発地別周遊ルート

#### 3-1-1 県外旅行者全体

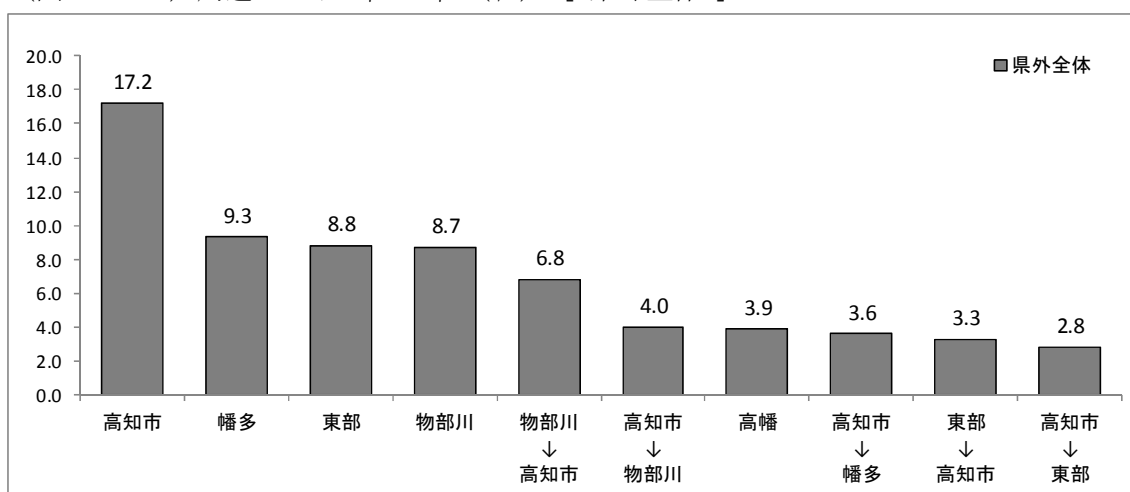
(表 3-1-1-1) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 県外全体 ]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	465	17.2%
幡多	250	9.3%
東部	238	8.8%
物部川	235	8.7%
物部川 → 高知市	183	6.8%
高知市 → 物部川	107	4.0%
高幡	106	3.9%
高知市 → 幡多	97	3.6%
東部 → 高知市	90	3.3%
高知市 → 東部	75	2.8%

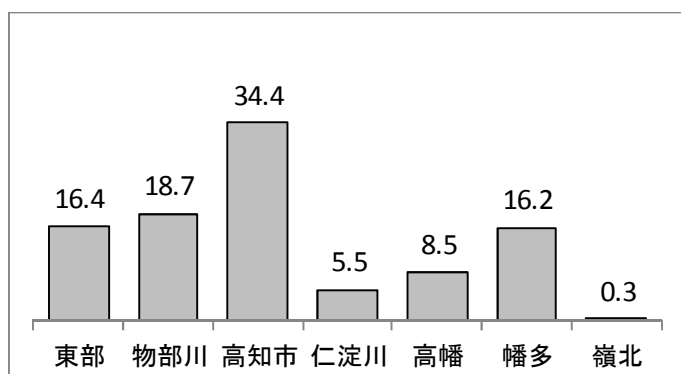
県外旅行者 2,696 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 17.2% と最も多く、次いで、「幡多」のみが 9.3%、「東部」のみが 8.8%、「物部川」のみが 8.7% と続いている。単一エリア内で観光を終える周遊ルートが上位 4 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 6.8% と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.0%、「高知市→幡多」が 3.6% と続いております、「高知市」を含む周遊ルートが上位を占めている。

(図 3-1-1-2) 周遊ルート上位 10 位 (%) [ 県外全体 ]



(図 3-1-1-3) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ 県外全体 ]



旅行中に最初に立ち寄ったエリアは (図 3-1-1-3)、「高知市」が 34.4%と最も多く、次いで「物部川」が 18.7%、「東部」が 16.4%、「幡多」が 16.2%、「高幡」が 8.5%、「仁淀川」が 5.5%、「嶺北」が 0.3%と続いている。

3-1-2 四国

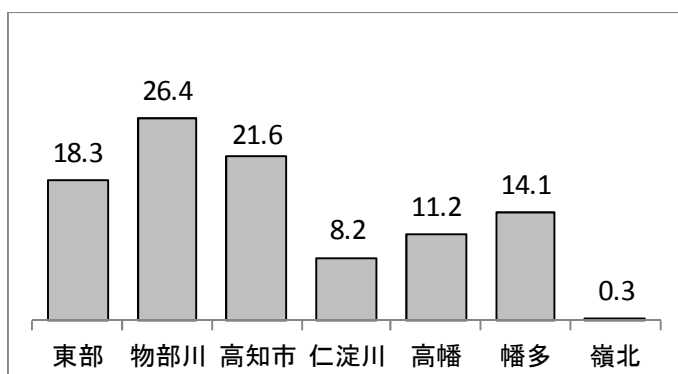
(表 3-1-2-1)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 四国 3 県 ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
物部川					151	16.2%
高知市					128	13.7%
東部					120	12.9%
幡多					102	10.9%
物部川	→	高知市			64	6.9%
高幡					62	6.7%
仁淀川					42	4.5%
高知市	→	物部川			33	3.5%
東部	→	高知市			25	2.7%
仁淀川	→	高知市			19	2.0%

高知県をのぞく四国 3 県の旅行者 932 組の周遊ルートを見ると、「物部川」のみで観光を終える割合が 16.2%と最も多く、次いで、「高知市」のみが 13.7%、「東部」のみが 12.9%、「幡多」のみが 10.9%と続いている。単一エリア内で観光を終える周遊ルートが上位 4 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 6.9%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 3.5%、「東部→高知市」が 2.7%、「仁淀川→高知市」が 2.0%と続いており、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが多くなっている。

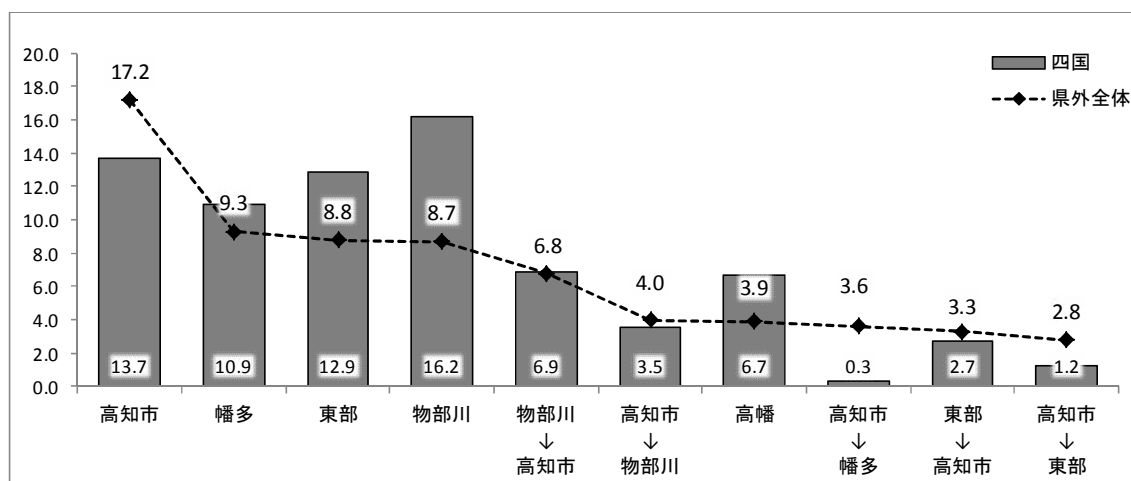
(図 3-1-2-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ 四国 3 県 ]



旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは (図 3-1-2-2)、「物部川」が 26.4% と最も多く、次いで、「高知市」が 21.6%、「東部」が 18.3%、「幡多」が 14.1%、「高幡」が 11.2%、「仁淀川」が 8.2%、「嶺北」が 0.3% と続いている。

なお、「物部川」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P172 : 参考 1)。

(図 3-1-2-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [ 四国 3 県 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-1-2-3)、「高知市」のみをのぞく単一エリア内で観光を終える割合が県外全体を上回っている。その他のルートでは、「高知市→幡多」や「高知市→東部」といった広く移動する周遊ルートが目立って少なくなっている。

### 3-1-3 近畿

(表 3-1-3-1)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 近畿 ]

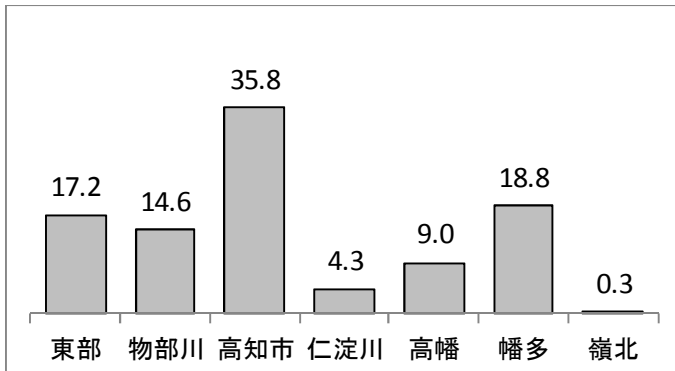
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					89	13.8%
幡多					63	9.8%
東部					52	8.1%
物部川	→	高知市			42	6.5%
物部川					34	5.3%
高知市	→	物部川			30	4.7%
東部	→	高知市			30	4.7%
高知市	→	幡多			29	4.5%
高知市	→	東部			26	4.0%
幡多	→	高知市			22	3.4%

近畿ブロックの旅行者 645 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 13.8%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 9.8%、「東部」のみが 8.1%、「物部川→高知市」が 6.5%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 6.5%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.7%、「東部→高知市」は 4.7%、「高知市→幡多」が 4.5%と続いており、「高知市」を含む周遊ルートが上位を占めている。

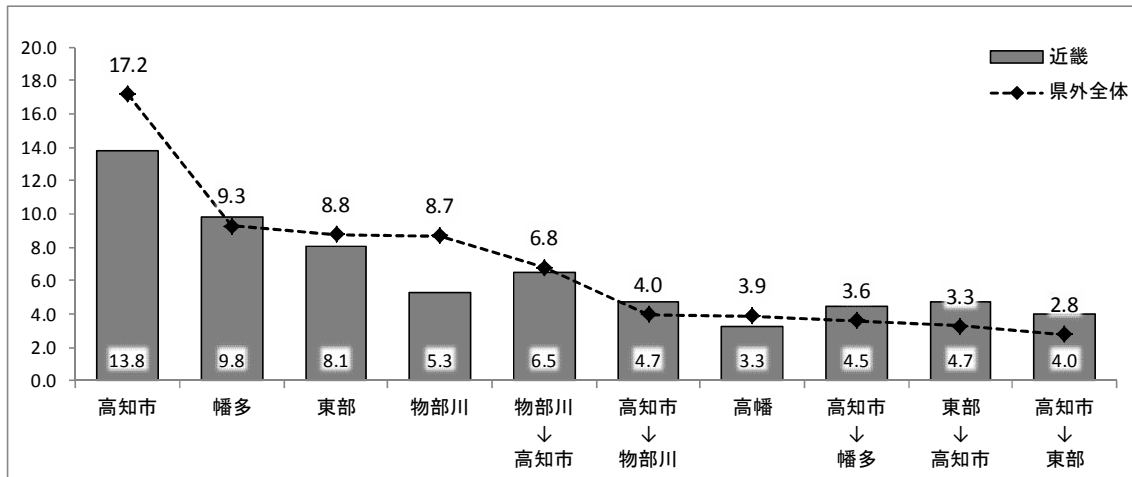


(図 3-1-3-2) 周遊ルートの玄関口 (%) [ 近畿 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-1-3-2)、「高知市」が 35.8% と最も多く、次いで、「幡多」が 18.8%、「東部」が 17.2%、「物部川」が 14.6%、「高幡」が 9.0%、「仁淀川」が 4.3%、「嶺北」が 0.3% と続いている。

(図 3-1-3-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [ 近畿 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-1-3-3)、「物部川→高知市」をのぞく他エリアへの移動を伴う周遊ルートが県外全体を上回っている。その一方で、「高知市」のみと「物部川」のみの割合が県外全体を大きく下回っている。

3-1-4 中国

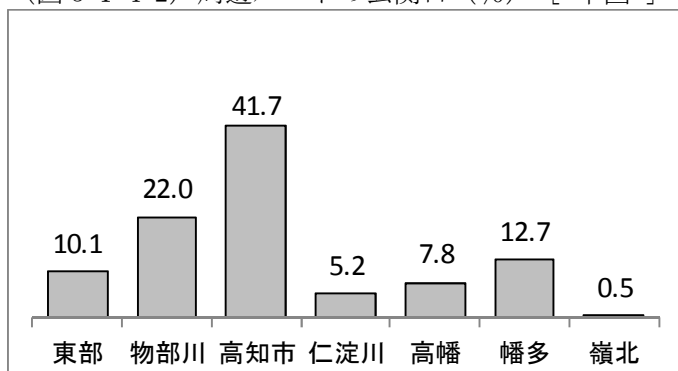
(表 3-1-4-1) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 中国 ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					91	23.6%
物部川	→	高知市			46	11.9%
幡多					30	7.8%
東部					21	5.4%
物部川					21	5.4%
高知市	→	物部川			16	4.1%
高知市	→	東部			13	3.4%
仁淀川					11	2.8%
高知市	→	幡多			10	2.6%
高幡					9	2.3%

中国ブロックの旅行者 386 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 23.6%と最も多く、次いで、「物部川→高知市」が 11.9%、「幡多」のみが 7.8%、「東部」のみと「物部川」のみがそれぞれ 5.4%と続いている。

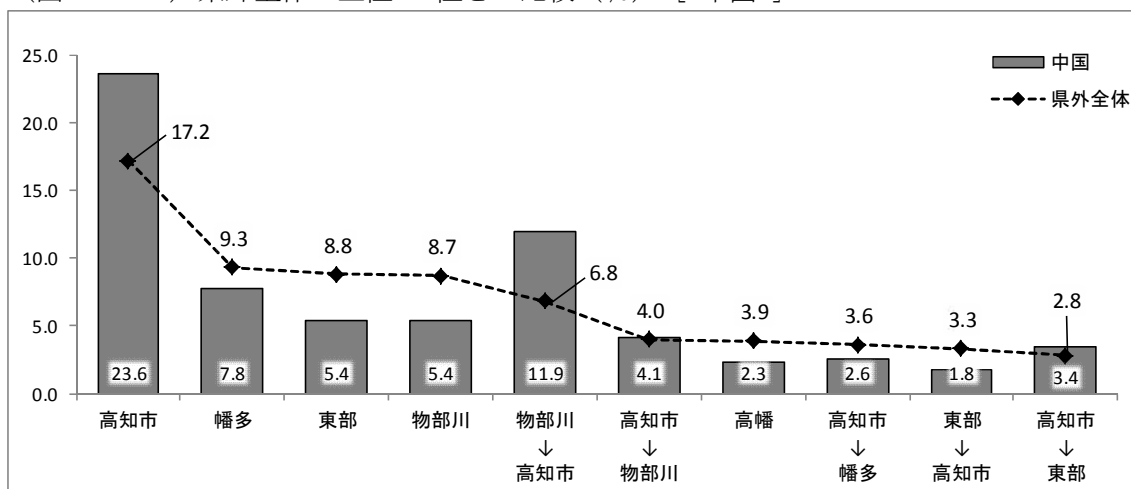
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 11.9%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.1%、「高知市→東部」が 3.4%、「高知市→幡多」が 2.6%と続いており、「高知市」と県東部のエリアを含む周遊ルートが多くなっている。

(図 3-1-4-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ 中国 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-1-4-2)、「高知市」が 41.7% と最も多く、次いで、「物部川」が 22.0%、「幡多」が 12.7%、「東部」が 10.1%、「高幡」が 7.8%、「仁淀川」が 5.2%、「嶺北」が 0.5% と続いている。

(図 3-1-4-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [ 中国 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-1-4-2)、「高知市」のみで観光を終える周遊ルートと「物部川→高知市」が県外全体を大きく上回っている。その一方で、「高知市」をのぞく単一エリア内で観光を終える周遊ルートなどが目立って少なくなっている。

3-1-5 関東

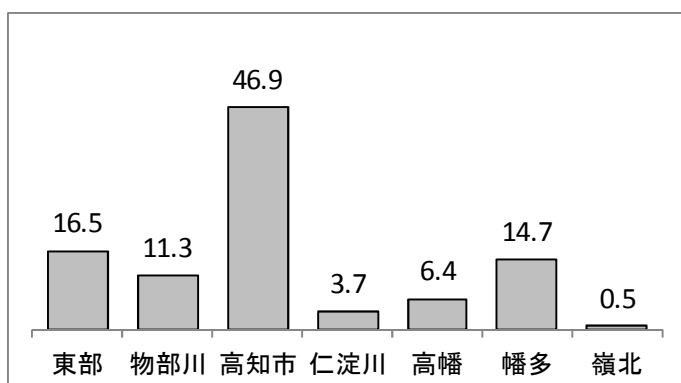
(表 3-1-5-1)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 関東 ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					89	21.9%
高知市	→	幡多			34	8.4%
幡多					28	6.9%
東部					25	6.1%
物部川	→	高知市			19	4.7%
幡多	→	高知市			19	4.7%
物部川					17	4.2%
東部	→	高知市			17	4.2%
高知市	→	東部			13	3.2%
高知市	→	物部川			11	2.7%

関東ブロックの旅行者 407 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 21.9%と最も多く、次いで、「高知市→幡多」が 8.4%、「幡多」のみが 6.9%、「東部」のみが 6.1%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→幡多」が 8.4%と最も多く、次いで、「物部川→高知市」と「幡多→高知市」がそれぞれ 4.7%、「東部→高知市」が 4.2%と続いており、県内を広く移動する周遊ルートが多くなっている。

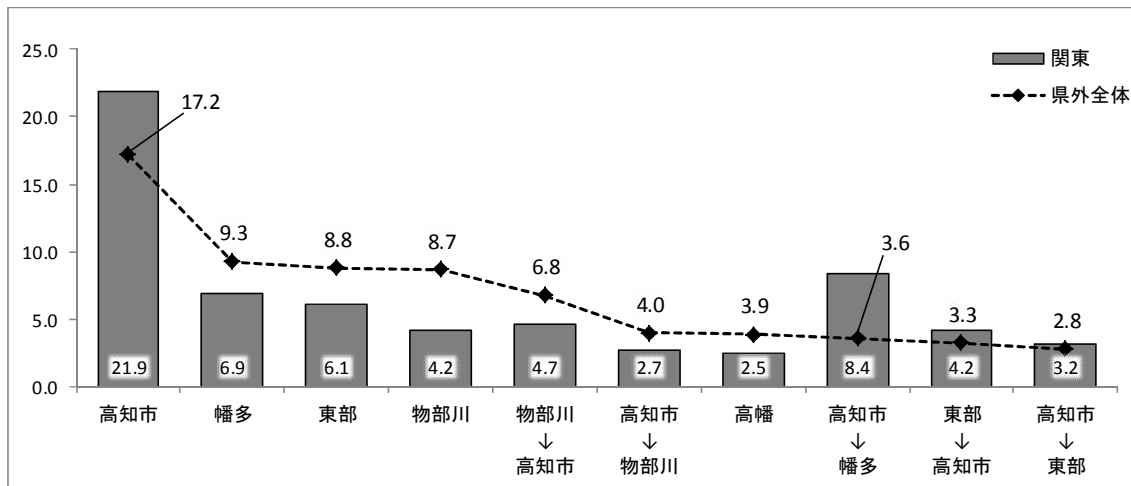
(図 3-1-5-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ 関東 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-1-5-2)、「高知市」が 46.9% と最も多く、次いで「東部」が 16.5%、「幡多」が 14.7%、「物部川」が 11.3%、「高幡」が 6.4%、「仁淀川」が 3.7%、「嶺北」が 0.5% となっている。

なお、「高知市」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P172 : 参考 1)。

(図 3-1-5-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [ 関東 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-1-5-3)、「高知市」のみで観光を終える周遊ルートと「高知市→幡多」が県外全体を大きく上回っている。その一方で、「高知市」をのぞく単一エリア内で観光を終える周遊ルート、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが県外全体を下回っている。

3-1-6 その他（北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外）

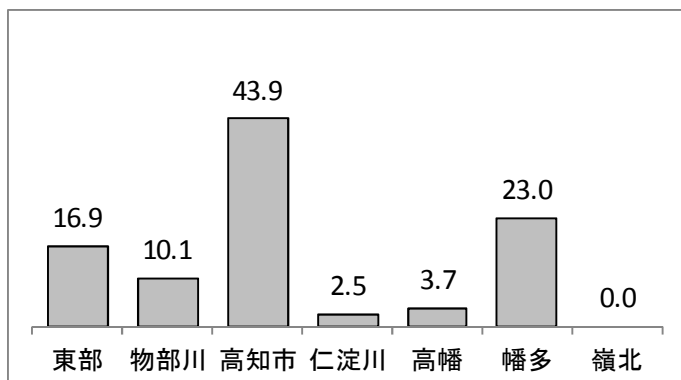
(表 3-1-6-1) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ その他 ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					68	20.9%
幡多					27	8.3%
高知市	→	幡多			21	6.4%
東部					20	6.1%
幡多	→	高知市			19	5.8%
高知市	→	物部川			17	5.2%
物部川	→	高知市			12	3.7%
物部川					12	3.7%
高知市	→	東部			12	3.7%
東部	→	高知市			11	3.4%

その他 5 ブロックの旅行者 326 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 20.9% と最も多く、次いで、「幡多」のみが 8.3%、「高知市→幡多」が 6.4%、「東部」のみが 6.1%、「幡多→高知市」が 5.8% と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→幡多」が 6.4% と最も多く、次いで、「幡多→高知市」が 5.8%、「高知市→物部川」が 5.2%、「物部川→高知市」が 3.7% と続いており、「高知市」と「幡多」、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

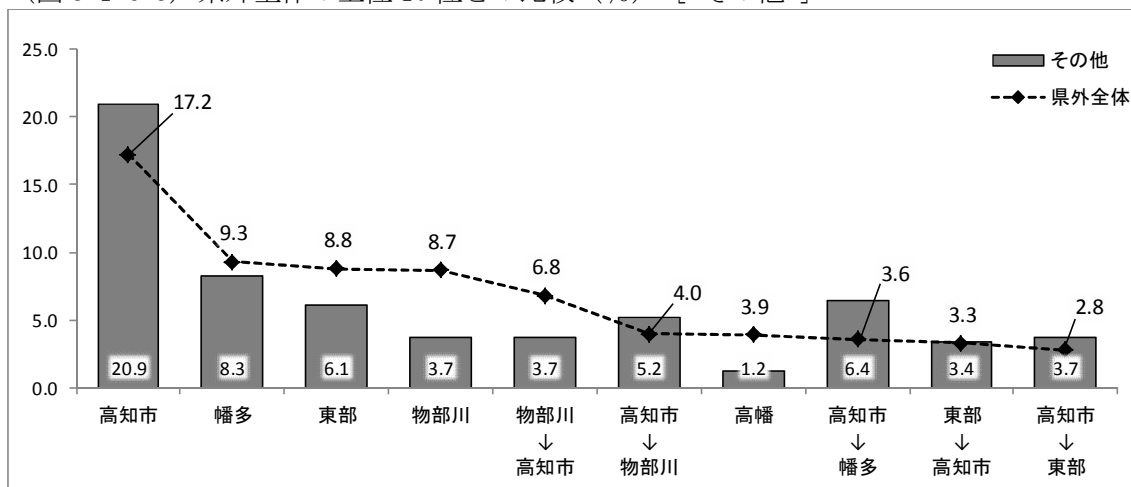
(図 3-1-6-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ その他 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-1-6-2)、「高知市」が 43.9%と最も多く、次いで、「幡多」が 23.0%、「東部」が 16.9%、「物部川」が 10.1%、「高幡」が 3.7%、「仁淀川」が 2.5%と続いている。

なお、「幡多」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P172 : 参考 1)。

(図 3-1-6-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [ その他 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-1-6-3)、「高知市」のみで観光を終える周遊ルートが県外全体を上回っており、その他の単一エリア内で観光を終える周遊ルートは下回っている。その他のルートでは、「高知市→物部川」、「高知市→幡多」、「高知市→東部」といった「高知市」を起点に他エリアへ移動する周遊ルートが多くなっている。

3-1-7 高知県

(表 3-1-7-1)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 県内 ]

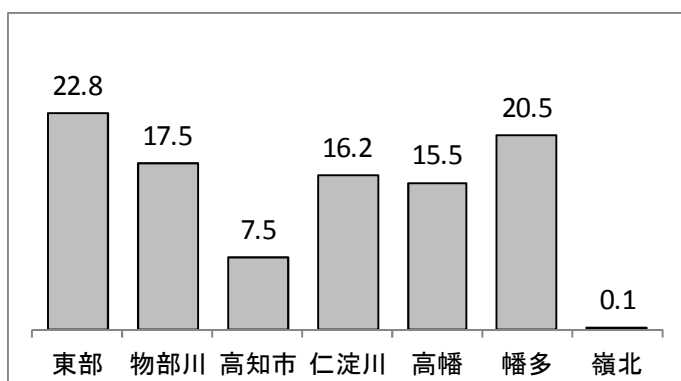
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	275	21.1%
幡多	252	19.3%
物部川	213	16.3%
仁淀川	201	15.4%
高幡	187	14.3%
高知市	87	6.7%
東部 → 物部川	16	1.2%
幡多 → 高幡	11	0.8%
物部川 → 東部	8	0.6%
高幡 → 幡多	7	0.5%

県内旅行者 1,304 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 21.1%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 19.3%、「物部川」のみが 16.3%、「仁淀川」のみが 15.4%、「高幡」のみが 14.3%と続いており、単一エリア内で観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「東部→物部川」が 1.2%と最も多く、次いで、「幡多→高幡」が 0.8%、「物部川→東部」が 0.6%、「高幡→幡多」が 0.5%と続いており、隣り合ったエリアを組み合わせた周遊ルートが多いものの、その割合はいずれも非常に少なくなっている。



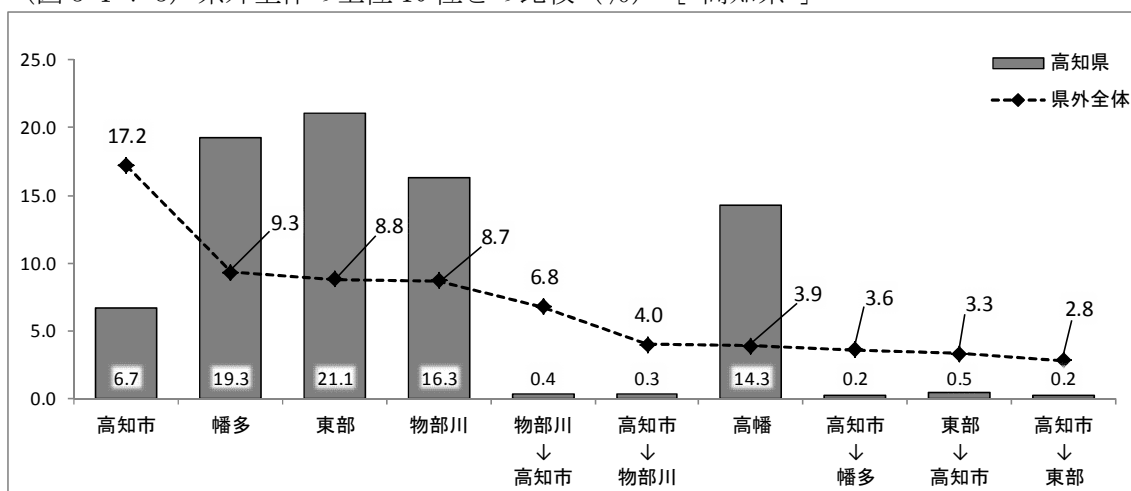
(図 3-1-7-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ 高知県 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-1-7-2)、「東部」が 22.8% と最も多く、次いで、「幡多」が 20.5%、「物部川」が 17.5%、「仁淀川」が 16.2%、「高幡」が 15.5%、「高知市」が 7.5%、「嶺北」が 0.1% と続いている。

なお、「東部」、「仁淀川」、「高幡」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P172: 参考 1)。

(図 3-1-7-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [ 高知県 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-1-7-3)、「高知市」のみをのぞく単一エリア内で観光を終える周遊ルートが大きく上回っており、その反面、「高知市」のみが大きく下回っている。また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートも県外全体と比べ、目立って少なくなっている。

### 3-2. 旅行形態別周遊ルート

#### 3-2-1 家族

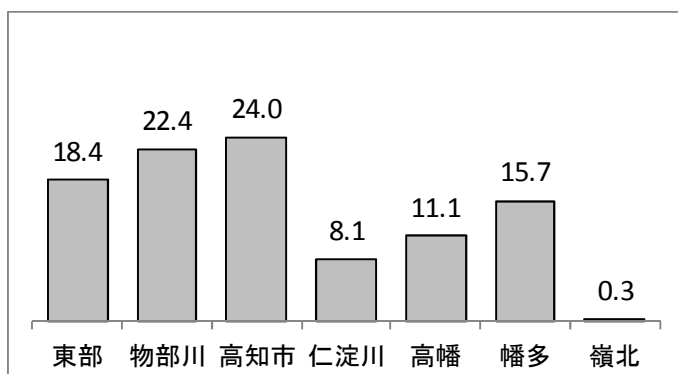
(表 3-2-1-1) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 家族 ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
物部川					377	14.2%
東部					356	13.4%
高知市					340	12.8%
幡多					287	10.8%
高幡					205	7.7%
仁淀川					157	5.9%
物部川	→	高知市			146	5.5%
高知市	→	物部川			84	3.2%
東部	→	高知市			61	2.3%
高知市	→	幡多			56	2.1%

家族旅行 2,658 組の周遊ルートを見ると、「物部川」のみで観光を終える割合が 14.2%と最も多く、次いで、「東部」のみが 13.4%、「高知市」のみが 12.8%、「幡多」のみが 10.8%、「高幡」のみが 7.7%と続いており、単一エリア内で観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 5.5%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」の 3.2%、「東部→高知市」の 2.3%、「高知市→幡多」が 2.1%と続いており、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

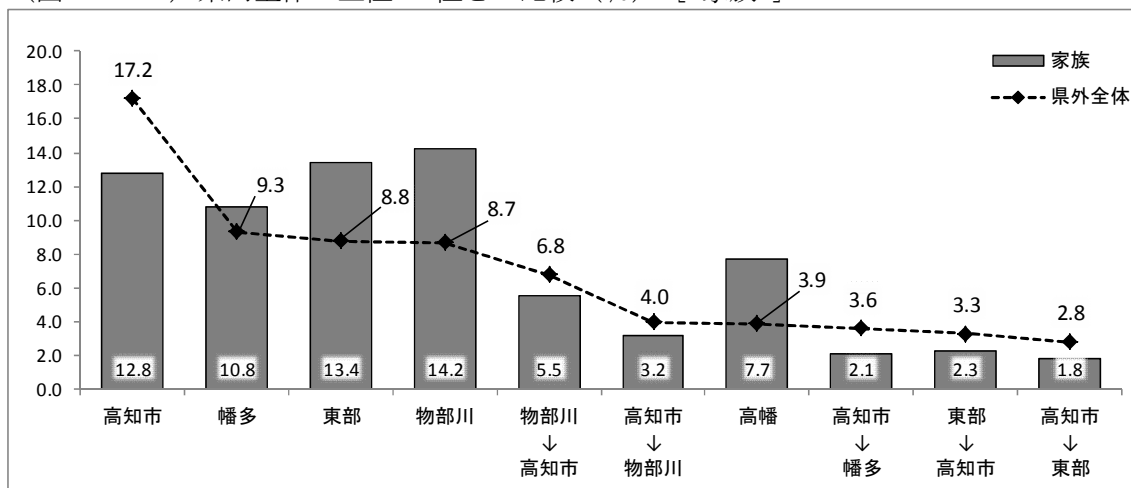
(図 3-2-1-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ 家族 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-2-1-2)、「高知市」が 24.0% と最も多く、次いで、「物部川」が 22.4%、「東部」が 18.4%、「幡多」が 15.7%、「高幡」が 11.1%、「仁淀川」が 8.1%、「嶺北」が 0.3% となっている。

なお、「物部川」と「高幡」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P172 : 参考 1)。

(図 3-2-1-3) 県内全体の上位 10 位との比較 (%) [ 家族 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-2-1-3)、「高知市」のみをのぞく単一エリア内で観光を終える割合が県外全体を大きく上回っている。その反面で、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが県外全体を下回っている。

### 3-2-2 友人・知人

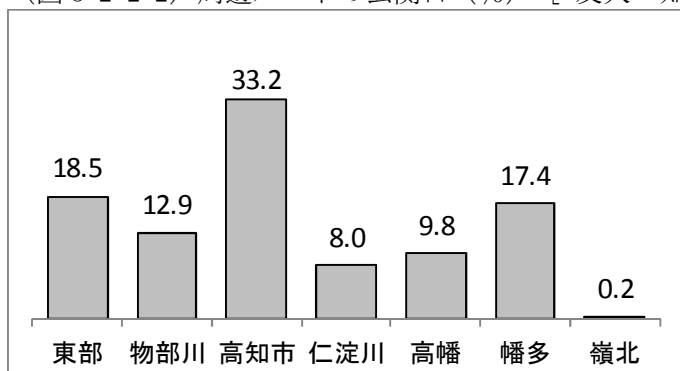
(表 3-2-2-1) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 友人・知人 ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					110	18.4%
幡多					66	11.0%
東部					60	10.0%
高幡					40	6.7%
物部川					39	6.5%
仁淀川					30	5.0%
東部	→	高知市			27	4.5%
物部川	→	高知市			24	4.0%
高知市	→	幡多			19	3.2%
高知市	→	物部川			17	2.8%

友人・知人との旅行者 599 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 18.4%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 11.0%、「東部」のみが 10.0%、「高幡」のみが 6.7%と続いている。単一エリア内で観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

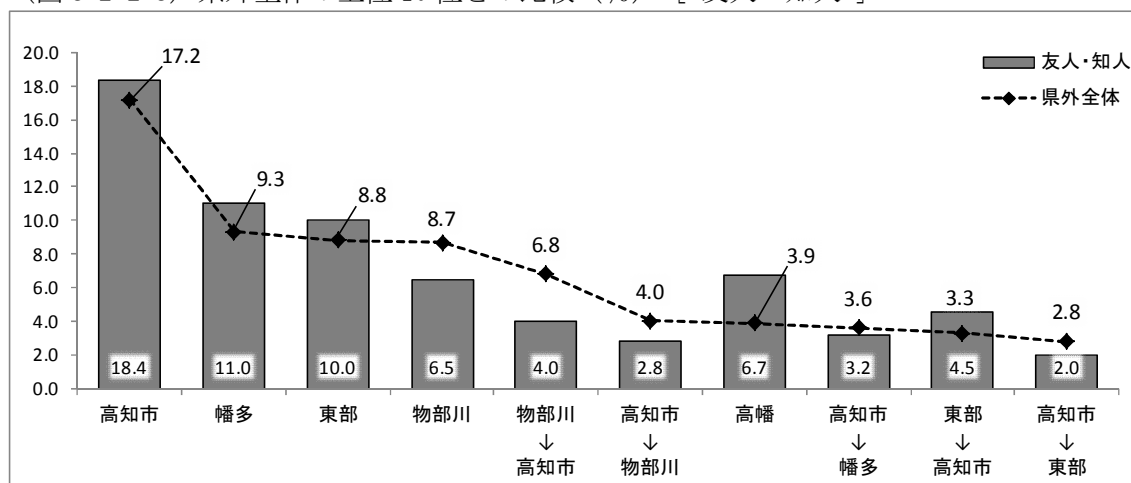
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「東部→高知市」が 4.5%と最も多く、「物部川→高知市」が 4.0%、「高知市→幡多」が 3.2%、「高知市→物部川」が 2.8%と続いており、「高知市」を含む周遊ルートが多くなっている。

(図 3-2-2-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ 友人・知人 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-2-2-2)、「高知市」が 33.2% と最も多く、次いで、「東部」が 18.5%、「幡多」が 17.4%、「物部川」が 12.9%、「高幡」が 9.8%、「仁淀川」が 8.0%、「嶺北」が 0.2% と続いている。

(図 3-2-2-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [ 友人・知人 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-2-2-3)、「物部川」のみをのぞく単一エリア内で観光を終える周遊ルートが県外全体を上回っている。その一方で、「物部川」のみ、「物部川→高知市」、「高知市→物部川」といった「物部川」を含む周遊ルートが目立って少なくなっている。

### 3-2-3 団体

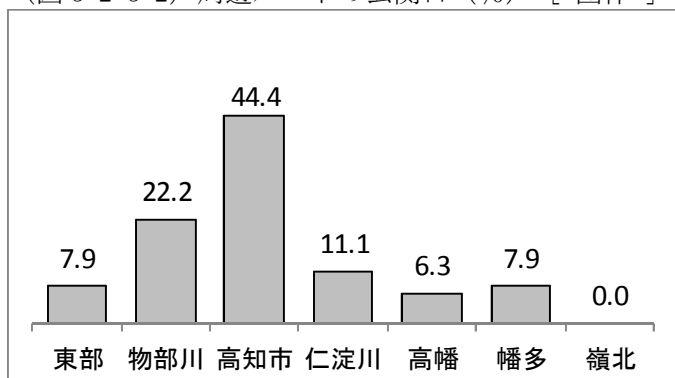
(表 3-2-3-1) 周遊ルート上位9位 (件・%) [ 団体 ]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	24	38.1%
物部川 → 高知市	9	14.3%
仁淀川	4	6.3%
幡多	3	4.8%
物部川	3	4.8%
東部 → 物部川	3	4.8%
仁淀川 → 高知市	2	3.2%
高幡 → 高知市	2	3.2%
(※対象多数のため略)	1	1.6%

団体旅行 63 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 38.1%と最も多く、次いで「物部川→高知市」が 14.3%、「仁淀川」のみが 6.3%、「幡多」のみ、「物部川」のみ、「東部→物部川」が、それぞれ 4.8%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 14.3%と最も多く、次いで、「東部→物部川」が 4.8%、「仁淀川→高知市」と「高幡→高知市」がそれぞれ 3.2%と続いており、「高知市」と「物部川」を含む周遊ルートが多くなっている。

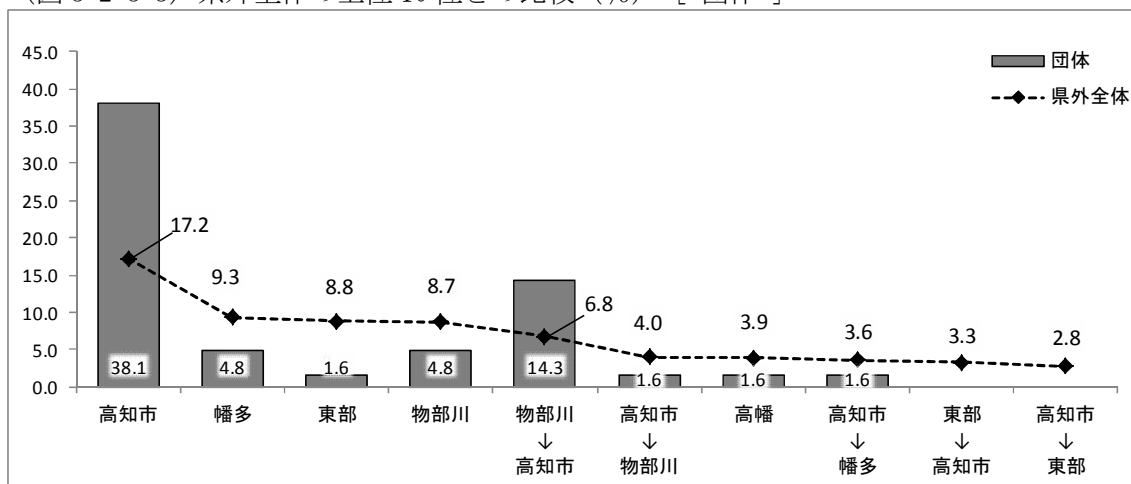
(図 3-2-3-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [ 団体 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-2-3-2)、「高知市」が 44.4% と最も多く、次いで、「物部川」が 22.2%、「仁淀川」が 11.1%、「高知市」と「高幡」がそれぞれ 7.9%、「高幡」が 6.3% と続いている。

なお、「高知市」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P172 : 参考 1)。

(図 3-2-3-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [ 団体 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-2-3-3)、「高知市」のみで観光を終える周遊ルートと「物部川→高知市」が目立って多くなっており、その他の周遊ルートは県外全体を下回っている。

3-2-4 一人

(表 3-2-4-1) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [ 一人 ]

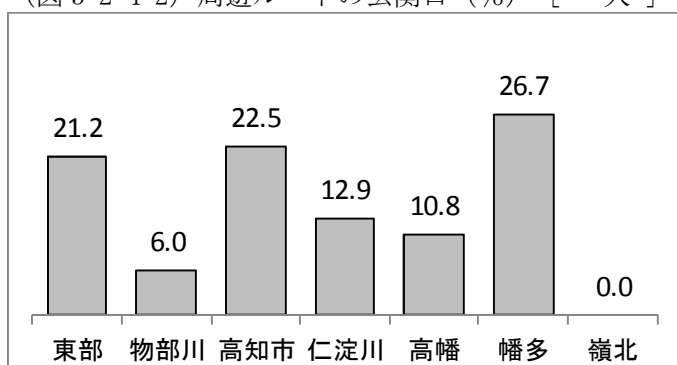
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	人数	割合
幡多	135	21.8%
東部	92	14.9%
仁淀川	75	12.1%
高知市	65	10.5%
高幡	41	6.6%
高知市 → 幡多	23	3.7%
物部川	22	3.6%
高知市 → 東部	15	2.4%
高幡 → 幡多	14	2.3%
(※対象多数のため略)	9	1.5%

一人旅の旅行者 619 人の周遊ルートを見ると、「幡多」のみで観光を終える割合が 21.8% と最も多く、次いで、「東部」のみが 14.9%、「仁淀川」のみが 12.1%、「高知市」のみが 10.5%、「高幡」のみが 6.6%と続いている。単一エリア内で観光を終える周遊ルートが上位 5 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→幡多」が 3.7%と最も多く、次いで、「高知市→東部」が 2.4%、「高幡→幡多」が 2.3%と続いており、県内を広く移動する周遊ルートが多くなっている。



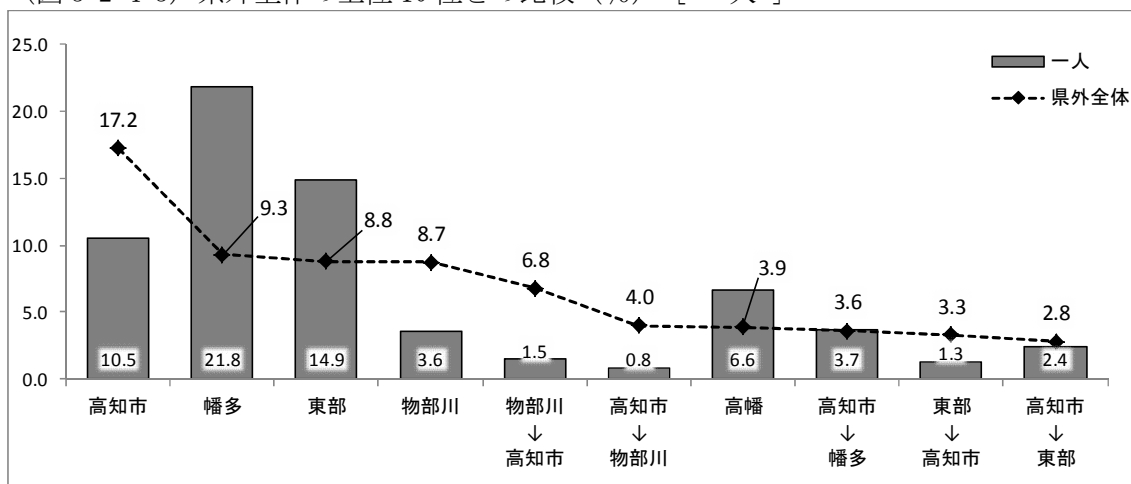
(図 3-2-4-2) 周遊ルート of 玄関口 (%) [一人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は (図 3-2-4-2)、「幡多」が 26.7%と最も多く、次いで、「高知市」が 22.5%、「東部」が 21.2%、「仁淀川」が 12.9%、「高幡」が 10.8%、「物部川」が 6.0%と続いている。

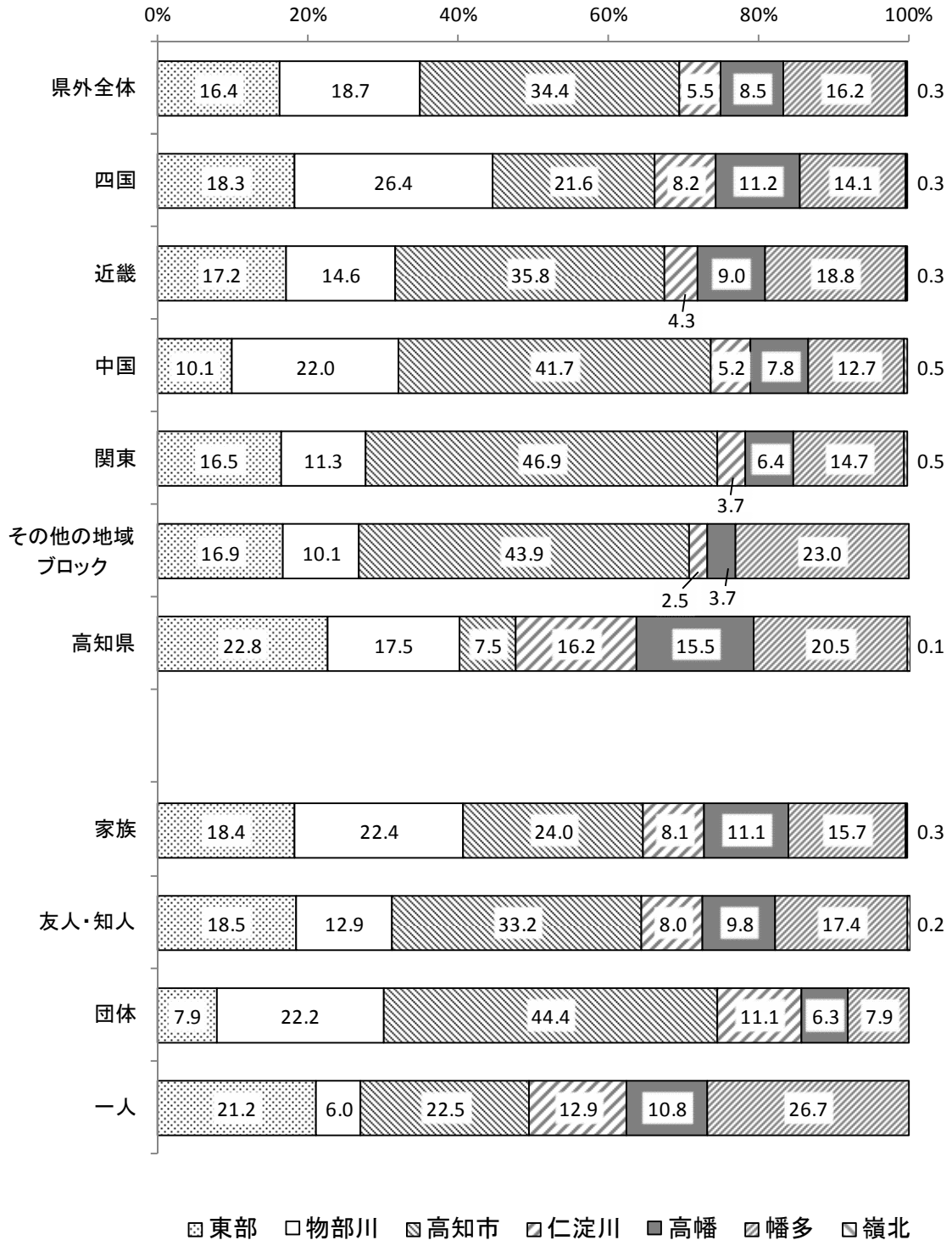
なお、「東部」、「仁淀川」、「幡多」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P172: 参考 1)。

(図 3-2-4-3) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [一人]

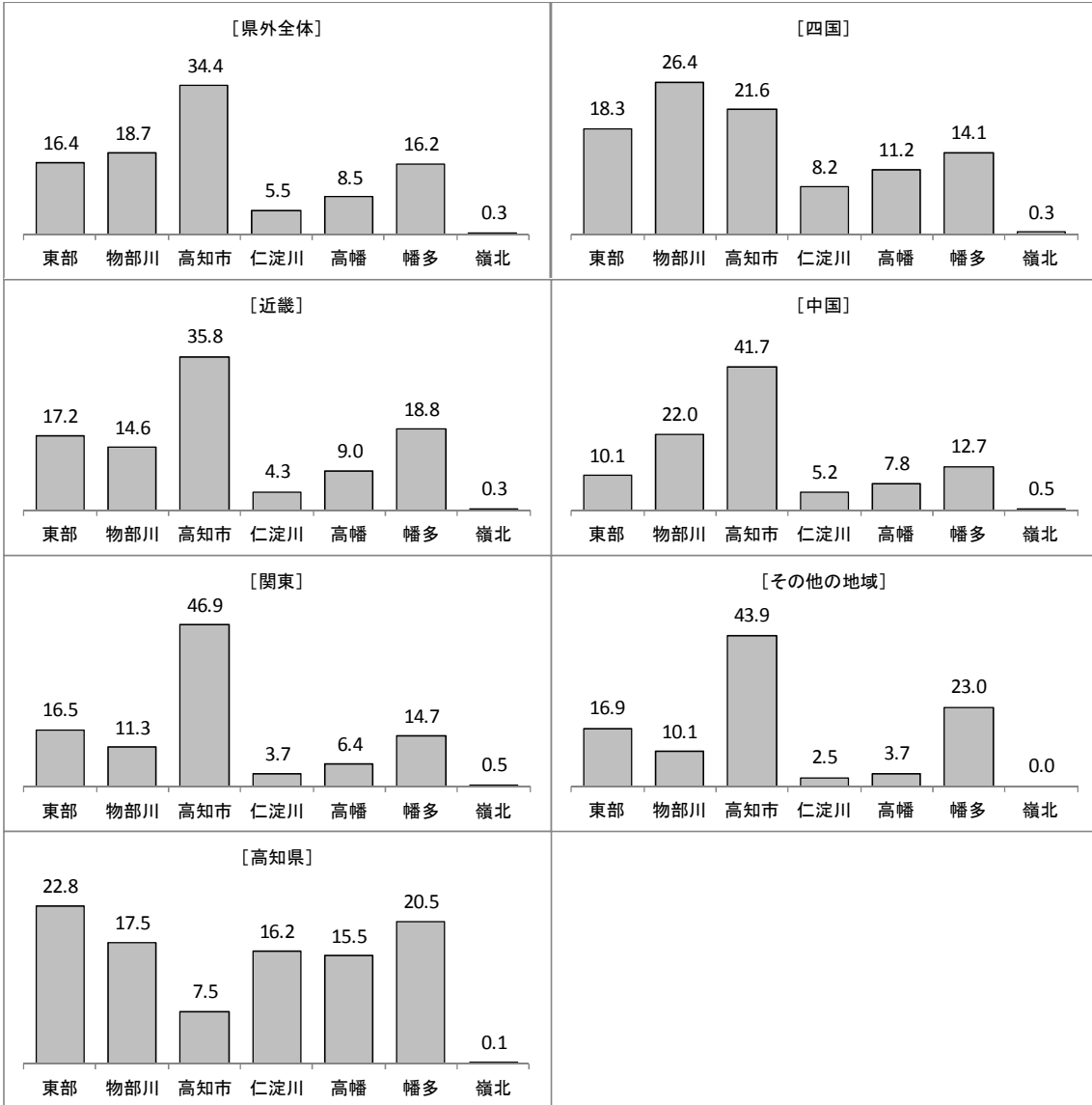


県外全体の上位 10 位との比較をみると (図 3-2-4-3)、「幡多」のみで観光を終える割合、「東部」のみ、「高幡」のみが県外全体を大きく上回っている一方で、「高知市」のみと「物部川」のみが大きく下回っており、エリアにより傾向が大きく異なっている。また、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが目立って少なくなっている。

(参考 1) 発地ブロック別・周遊旅行形態別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考2)発地ブロック別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考 3) 旅行形態別周遊ルート of 玄関口 (%)

